

# 日東整争議を勝たせる会ニュース

## JAL相手に子会社の労働者が 解雇撤回求め東京地裁に提訴!

発行元 日東航空整備の不当解雇撤回争議を勝たせる会  
〒144-0043 大田区羽田5-11-4 航空労組連絡会気付  
TEL:03-3742-3251 Email:nittosougi@gmail.com

日本航空によって会社を潰され全員の雇用を奪われた子会社・日東航空整備（以下日東整）の労働者2名 泉聖二さんと佐藤二郎さんが、3月14日JALなどを相手に解雇撤回を求め、裁判をおこしました。

大量のパイロットや客室乗務員を不当解雇した日本航空、一方で子会社の雇用も奪っています。日本航空に対する解雇撤回を求める点で日航不当解雇撤回の闘いと共通点多く、ともに勝利に向けて頑張ります。争議内容を紹介し、当該争議への支援を訴えるものです。



### 日東航空整備争議とは

日本航空は、運航会社では自社内に最も整備の体制を整えていた会社でした。ところが航空行政の影響や放漫経営などで経営収支が悪化したことから大規模なコスト削減を強行します。その的にされたのが大量の人員削減です。パイロットや客室乗務員をはじめとする日航本体の人員削減、整備の職場では費用が半減できる労働条件の子会社をつくりました。そして本体の整備士をその子会社へ殆ど帰ることのない出向として送り込みました。

日東整は日航機の重整備（自動車の車検の様に一定間隔で飛行機を運航からはずして行う点検・整備）を行っていました。当然、前述の子会社に統合すると思っていきましたが、突然昨年1月に日航から「2月以降の仕事はない」と言われ事業終了となり、3月末日に144名全員の雇用が奪われました（13名を解雇、他は退職）。これに対し泉聖二・佐藤二郎の2名が不当解雇撤回と雇用の継続を求めた争議です。

裁判では、日東航空整備の事業を引き継いだ日航の子会社JALエンジニアリング（JALEC）での泉の地位確認（雇用確保）、2名に対する日航・JALEC・日東航空整備3社による損害賠償などを求めています。（2012年3月14日提訴）

争議団（泉・佐藤さん）は日航に、親会社としての責任で争議を解決せよと運動しています。

### 裁判の目的は三点です

【裁判は以下の三点を目的としています】

雇用を奪われた泉・佐藤両名の解雇撤回をさせる。

日航の利益第一主義、労働者のために頑張る労働組合を敵視する政策を改めさせ、安全・安心の政策に切り替えさせる。

子会社とそこの労働者を使い捨てる大企業の横暴を許さない。



# 被告は日航関連三社

【被告は、日本航空(株)、(株)JALエンジニアリング(JALEC)、日東航空整備(株)の三社です】

## 日東航空整備(株)とは、

1980年設立、日本航空(設立当時は東亜国内航空)と日本飛行機(株)が50対50株主の会社。収入の9割以上が日航から受注した業務。原告泉さんは91年4月から、佐藤さんは82年4月から日東整に勤務してました。

## (株)JALエンジニアリングとは

日本航空の100%子会社で主に航空機整備を行う。日本航空の整備士の殆ど(海外基地駐在者など1部を除く)が出向しJALEC社員と共に整備に従事している。日東整解散後、日東整が実施していた整備をひきついでいます。



\* 日航、JALEC、日東航空整備への損害賠償請求

## 【請求内容の概要】

\* 日東整及びJALECは事実上、日本航空に従属されている関係にあります。そうした支配関係の下で日東整に委託されていた仕事を解除し、JALECに委託が変更されたわけです。

要は、JALの方針の下で「日東整に対する委託契約解除・JALECへの委託」をし、三社共同で日東整の会社解散・解雇を実施したのです。

今回の場合は事業譲渡であり、本来であれば日東整従業員との労働契約もJALECに引き継がれるべきものであるため解雇は無効と主張しています。

# 主な請求内容と概要

## 【主な請求内容】

- \* 泉聖二のJALECでの地位確認とバックペイ
- \* 佐藤二郎のバックペイ



私が働いていた日東航空整備(株)がつぶれ、労働者全員くびになつたのは、JALが日東航空整備への業務委託を打ち切つたのが真の原因です。JALは自らの経営方針に協力させるために、労働組合変質を画策し、労組も変化しましたが、それでもその労働者を敵視し、会社ごとつぶし全従業員の雇用を奪いました。このように労働者の職場や権利を奪い、労働者を使い捨てにするJAL経営の横暴は絶対に許せません。このような経営姿勢は運航の安全に

全面的運動で 泉聖二さん

# 泉 & 佐藤 原告2名の 決意表明です

とつても、重大な危惧を抱かざるを得ないからです。私は解雇を撤回させ、JALに対し親会社責任で、事業を引き継いだJALECに雇用を確保することを求めこれまで運動してきました。これから全面的に運動を展開し、勝利するまで闘う決意です



私は、30年間に亘り日本航空の航空機の整備を担い安全運航に貢献してきました。また、日航の経営破綻後の再建策として、ボーナスなし、賃金カットなどにも協力させられたあげく、会社ごとつぶされ、全員クビではたまりません。経営破たん何ら責任の無い日東整及びその従業員に対する、大企業日航の子会社つづきの横暴を許せない、との強い想いで提訴しました。この争議を必ず勝つ決意をしています。皆様の更なるご支援をお願いします。

必ず勝ちます 佐藤二郎さん

